

第4章 計画のビジョンと目標・施策の方向性

1 計画のビジョン（本市の目指す将来像）と目標

「(仮称)北九州市しあわせ長寿プラン～幸福長寿モデル都市を目指して～」のビジョンと最終目標を次のとおり定めます。

【ビジョン】

**高齢者が健康で生涯現役を目指し、自分らしく安心して、
人生100年時代を幸福に暮らすことができるまち**

本市には、29万人を超える高齢者が暮らしており、およそ4人に3人は、健康面において日常生活に影響がなく、積極的に多様な活動をされています。

これらの方々ができるだけ長く、支える側として生涯現役を続けていくための支援を進める一方、重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で、自分の望むケアや暮らす場所について、不安なく、自ら決定できる仕組みづくりが求められています。

高齢化率が政令市で最も高い本市において、今後、75歳以上の後期高齢者がさらに増加し、また全国的にも生産年齢人口の減少が見込まれるなか、北九州市に暮らしているからこそ感じることができる、幸福長寿モデル都市としてのまちの実現を目指します。

（※ 本計画において生涯現役は、就労の継続や体力的な面のみならず、人との関わりや余暇・趣味、社会参加・貢献、生涯学習等に意欲を持ち続けるほか、自身の状態に応じて、前向きに自己選択・自己決定する暮らし方と位置づけます。

【最終目標】

健康づくりや人と地域のつながり等により、高齢者が自分らしく、いきいきと活動できる状態が、主観的幸福感につながるため、上記のビジョンの進捗状況を確認する指標として「幸福感の高い高齢者の割合」を重視していきます。

令和4(2022)年度「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」では、52.9%(一般高齢者で8点以上の割合(10点満点))となっており、計画期間内で55%を目指します。

幸福感の高い高齢者の割合 令和8年度目標 55%

(参考)

	過去 (令和元年度)	現状 (令和4年度)
北九州市	49.0%	52.9%
政令指定都市平均 (地域包括ケア「見える化」システム(※) 掲載市のみ)	49.3%	48.6%

(※) 地域包括ケア「見える化」システム：
都道府県・市町村における介護保険事業(支援)計画等の策定・実行を総合的に支援するための情報システム

2 施策の体系

目標	施策の方向性
	施策
目標1 目指そう 活力ある100年 ～健康長寿～	1 人や社会とつながり続け、役割をもって活躍できる機会の創出
	1 生涯現役の充実したライフスタイルを応援
	2 就労やボランティア活動等の社会参加支援
	2 生涯を通じた健康づくり・介護予防
	1 健康寿命延伸を目指した健康づくり・介護予防の促進
2 地域で主体的・継続的に取り組める仕組みづくり	
目標2 人情息づく支えあいのまち ～地域共生社会～	1 人のつながりが幸せや安心を生む 支えあいの地域づくり
	1 見守り・支えあいのネットワークづくり
	2 地域のウェルビーイングを創出する人材の育成
	3 多様なつながりが力を生む地域づくり
	4 孤独・孤立や多様な困難を抱える高齢者等の安心を支援
	2 認知症にやさしいまちづくり（北九州市認知症施策推進計画（北九州市オレンジプラン））
	1 認知症の理解の増進と共生の推進
	2 保健医療・介護サービス提供体制の整備
	3 認知症の人や介護者への相談・支援
	4 認知症の予防
	3 尊厳のある自分らしい暮らしを守る権利擁護の推進（北九州市成年後見制度利用促進計画）
	1 成年後見制度の利用推進
	2 虐待防止対策の推進
4 介護者（ケアラー）のサポート	
1 介護者の不安に寄り添う	
2 家族介護者の生活支援	
目標3 選べる自由が感じられる多彩なケア ～安全・安心・自己決定～	1 不安を安心へ
	1 地域包括支援センターの体制整備
	2 在宅医療・介護連携の強化
	3 地域リハビリテーションの充実
	4 一人暮らしの高齢者の安心を支援
	2 介護サービス等の提供体制の充実及び介護保険制度の安定した運営
	1 実情に応じた介護サービス基盤の整備
	2 先進的介護等による生産性向上及び介護人材確保
	3 介護サービスの質の確保及び適正な運営
	4 保険者機能の強化
5 在宅生活を支援するサービスの充実	
3 安全・安心に暮らし続けられる環境づくり	
1 暮らしやすい多様な住まいづくりを応援	
2 外出したくなる環境づくり	
3 安全・安心な生活を守る	